



vol.12

このコーナーは、小田川市長が掲げる今年の漢字「育」にちなみだまちづくりを紹介するコラムです。

# 声をつなぐ、 みらいをつくる。

あなたのくらしがより良くなるように、  
つくばみらい市が変わります。  
テクノロジーの解放で、  
市と市民とが双方向にやり取りできる新しいサービス。  
それは市民からのリアルな声をリアルタイムに聴き、  
改善に繋げる新しい対話。  
さあ、日本一住みやすいまちを、あなたの声で。スママチ SumaMachi で。

自治体と地域住民を双方向でつなぐ  
アプリケーション

SumaMachi

## 公立4保育所等でHENNGEのサービスを活用中



昨年来、保育所での児童の欠席・遅刻連絡のオンライン化、お便りのデジタル化が実現。子育て支援室のイベント連絡、妊婦の方とのコミュニケーションをスマホひとつで行えるので便利になったと利用者からも好評です。  
※ CHROMO からスママチ SumaMachi へ名称変更されました。

## テクノロジーの解放でよりくらしやすいまちへ



IT企業のHENNGE株式会社とつくばみらい市は、テクノロジーの力でつくばみらい市民がよりくらしやすいまちを実現するため、新たな包括連携協定を結びました。写真は締結式の様子。  
右:市長 小田川浩  
左:HENNGE代表取締役副社長 宮本和明

